マリンライフ

［ Vol. 294］



さとうみ科学館では、開館当初からカブトガニの生息状況調査を行っています。今年は、３月下旬～１０月９日までフィールド調査を行い、生体 45 個体（新規 28 個体、再捕獲 17 個体）のデータが得られました。さらに、６月の調査では、江田島市では 26 年ぶりとなる野外でのつがいの発見などもありました。今回は、今年度の調査結果を詳しく紹介します。



昨年を振り返ると、、、

生体 30 個体（うち９割が成体のオスまたは 16 齢幼体）、脱皮殻 14 個体分（うち６割が 15 齢幼体の脱皮殻）を確認し、ここ数年**成長を見守ってきた集団が成体になり始めていました。**順調に成長・脱皮を行えば、**2026 年には、16 齢幼体から成体のメスへと成長する年**となり、湾内では多くの成体のカブトガニが見られると期待されました。

今年の調査結果は、、、

生体 45 個体が確認できました。齢数別の内訳をみると、15 齢幼体 1 個体、16 齢幼体３個体、成体オス 37 個体、成体メス４個体となり、全 45 個体中、41 個体（91.1%）が成体という結果でした。また、今年脱皮予定の 15 齢・16 齢幼体も確認されており、無事に脱皮が行われていれば、８月下旬にはそれぞれ **16 齢や成体へと成長した**と考えられ、昨年の予想を裏付ける結果となりました。産卵の確認も期待されましたが、２対の“つがい”は確認できたものの、産卵行動を確認するまでには至りませんでした。江田島湾内においては、亜成体の脱皮は８月中旬頃行われ、それはカブトガニの産卵時期が終わるころです。脱皮をして新たに成体になった個体は、これから外骨格が硬くなり、越冬します。そして来年の初夏ごろから本格的に産卵行動に入るのではないかとも考えられます。産卵に関して、今年はお預けとなりましたが、今後も根気強く調査を続け、確認の報告ができればと考えています。



カブトガニ調査を支える漁業者の方々

今年度の調査では、多くの成体を確認することができましたが、その多くは江田島湾で漁をされている漁師さんの漁網による混獲でした。10 月中旬までに 17 回連絡を頂き、33 個体のカブトガニの情報を得ることができました。本来なら仕事の妨げになる状況（漁網にからまる）でもありますが、毎回網から外し、生かした状態で連絡を頂きます。我々職員だけでは到底調べることができない海中のカブトガニ情報が得られるのも、干潟を歩いて生息状況調査ができるのも、こういった漁師さんや漁業協同組合の方々の協力のおかげです。本当にありがとうございました。

「ひろしま自然史ネットワーク」


館内見学


会議の様子


集合写真

９月 16 日（水）、さとうみ科学館を会場に、広島県内で自然史に関わる活動を行っている団体や博物館・科学館、大学関係者など約 20 名が集まり、「ひろしま自然史ネットワーク」という名のもと、ミーティングを行いました。これは、2025 年 1 月に開催された「ひろしま環境ミーティング 2024 in 似島」（主催：NPO 法人環境パートナーひろしま）の分科会「ひろしまの自然史博物館のこれから」に参加していたメンバーが中心となり、この日をきっかけに広島県全体の自然史を未来へとつなぐネットワークとして活動をはじめたものです。

当日は、さとうみ科学館の成り立ちや里海学習などの取り組みを紹介したほか、特別企画展「牡蠣筏の生き物展」やバックヤードを見学していただきました。ミーティングの場では、今後の取り組み内容として、県内各地の自然史資料や活動を紹介する場としての「出張博物館」、自然史に関わる施設や団体などを紹介するマップ作成、過去の研究報告や論文などのデジタル化などについても協議されました。

今後は、SNS を活用した情報発信などを行いながら、「ひろしま自然史ネットワーク」としての運営体制づくりを進め、県内の研究者や自然史に携わる人・標本・知識を結び、県全体でひとつの博物館のように機能することをめざして、本格的に動き始める予定です。

我が家の「当たり前」が、こどもたちの宝物に！

「里海のおもてなし」再発見とアイデア交流会を開催しました。

９月 30 日（水）、商工観光課が主催する民泊受入家庭を対象とした交流会が、さとうみ科学館で開催されました。

地域おこし協力隊の向井さんが企画したものです。普段何気なく眺めている海や当たり前に感じている暮らしの中には、都市部から訪れる子どもたちを感動させる魅力がたくさん詰まっています。今回の交流会では、そんな身近な魅力を再発見し、楽しくおもてなしを続けるためのヒントを探りました。


第１部の様子

第 1 部では、県立広島大学の馬本先生と当館の西原館長が、江田島の里海の特徴や宮島とのつながり、子どもたちに伝えたい里海の魅力について紹介しました。

第 2 部では、江田島市の地図を囲みながら、各家庭のおもてなしについて意見交換。「とっておきの夕日スポット」や「渡り鳥が訪れる場所」など、地元ならではの情報を共有しました。


第２部の様子

参加者からは「里海についてもっと学び、子どもたちに伝えたい」「新しく知った場所に子どもたちを案内したい」といった声が寄せられ、江田島の日常にある豊かさを再発見する有意義な交流会となりました。

特別企画展

牡蠣筏の生き物展 情報

船の科学館 海の学びミュージアムサポート

祝　来場者1000人達成！



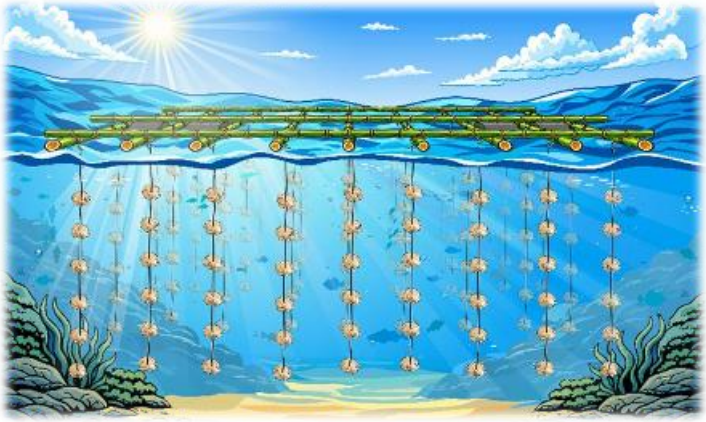
企画展開始から約１か月。市内外から多くの方々にご来場いただき、10月９日（金）、来場者数が1,000人に到達しました！記念すべき1,000人目は、広島市から来られた親子三世代のご家族。おじいちゃんからお孫さんまで、みなさんでご来館いただき、記念品としてオリジナルグッズを贈呈しました。今後も新たな展示を加えながら、企画展はまだまだ続きます。皆様のお越しを心よりお待ちしています！

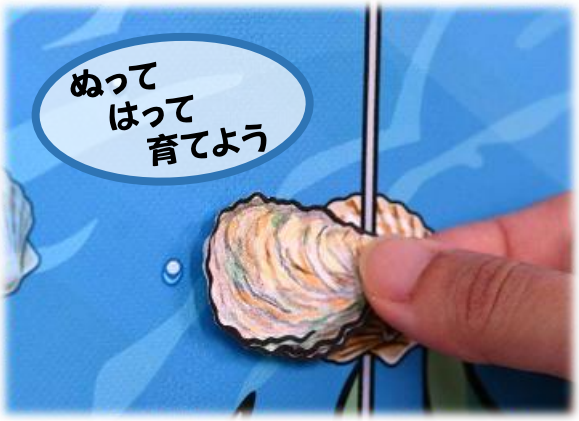
― 新たな展示でパワーアップ！ ―

新しい展示や参加型コーナーが加わりました。見るだけでなく、参加したり、じっくり学んだりと、さまざまな楽しみ方ができる内容になっています。

みんなで育てる、さとうみのカキ筏！

参加型コーナーが登場しました。好きな色にぬった「カキの塗り絵」を、カキ筏のイラストにペタッ！ 来場者のみなさんがカキをはり、にぎやかなカキ筏へと育てていきます。今後は、カキの成長にあわせて、魚や付着生物など、カキ筏のまわりでくらす生き物たちの塗り絵も追加していく予定です。企画展が終わるころには、収穫できそうなくらいカキでいっぱいの筏になっているかもしれません。自分だけのカキを筏の仲間に加えて、一緒に「さとうみのカキ筏」を育ててみませんか。





時間を見ると、そこにもカキ!?「カキ時計」

企画展会場でそっと時を刻む、掛け時計ならぬ「カキ時計」。展示を見ながら、ぜひ会場のどこにあるのか探してみてください。

カキ筏の世界に入り込もう！「顔はめパネル」

企画展の思い出を写真に残せる「顔はめパネル」も登場しました。カキ筏や海の生き物たちと一緒に、企画展ならではの一枚を撮影できます。家族や友達と一緒に、ぜひ記念撮影を楽しんでください。

企画展の裏側を紹介

企画展を行うにあたりカキ筏にどのような生き物がくらしているのかを調べるため、水中ドローンや潜水による調査を行ってきました。会場では、普段なかなか見ることのできない調査風景を写真で紹介しています。展示ができるまでの“裏側”にも注目してみてください。

ワークシート作成

学校の授業や学習などで活用できるワークシートを作成しました。展示を見ながら、牡蠣養殖のしくみやカキ筏に集まる生き物たちの関わりについて考えることができます。企画展を楽しみながら、牡蠣養殖や身近な海の環境、生き物同士のつながりについて、幅広く学べる内容となっています。



牡蠣筏の生き物展
関連イベント第１弾（全４回）

参加無料

第 218 回自然観察会

牡蠣筏の生き物観察会（牡蠣養殖編）

日　　時：令和８年 11 月 28 日（土）
７：30～11：00

集合場所：中町港ヘリポート近くの駐車場（7：30）
場　　所：カキ筏（江田島湾内）
　　カキ加工場（山岡水産）
定　　員：20 名程度（小学生以上）
　　※申込多数の場合は抽選。
　　※11 月 20 日以降、当選者には連絡します。
申し込み：令和８年 10 月 21 日（水）から 11 月 19 日（木）までに
　　申込フォームまたは電話にて事務局へお申し込み下さい。

【注意】　小中学生は、必ず大人の人と一緒に参加して下さい。
※持ちもの等は当選者への連絡時にお伝えします。

カキの生育や収穫の様子を見学します。また、筏の上に乗って釣りをしながら筏に集まる生き物を調べたり、水中ドローンで筏の下の世界をのぞいたりします。カキ加工場ではカキ打ち作業も見学！海で育つカキを、収穫から加工まで体験できる特別イベントです。

申込フォームはこちら

船の科学館 海の学びミュージアムサポート

潮見表　11月の観察に適した日時　（干潮時刻と潮位）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
時分	7:30	8:47	10:21	11:46	0:42	1:25	2:03	2:38	3:11	3:42	4:13	4:42	5:12	5:44	6:20
cm	64	92	106	107	114	84	58	39	**26**	**21**	**21**	**26**	36	49	67
時分	20:42	22:25	23:46		12:50	13:41	14:23	15:01	15:37	16:10	16:42	17:15	17:49	18:27	19:13
cm	181	172	146		101	96	95	98	105	114	124	134	144	154	164
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
時分	7:03	7:59	9:15	10:45	0:00	0:46	1:27	2:07	2:48	3:29	4:12	4:56	5:43	6:33	7:27
cm	87	107	123	129	122	89	56	**25**	**0**	**-16**	**-23**	**-19**	**-5**	**17**	45
時分	20:14	21:37	23:00		12:03	13:02	13:52	14:37	15:21	16:05	16:50	17:36	18:27	19:22	20:24
cm	170	167	150		123	113	104	100	101	106	115	124	133	139	140

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。
潮位３０cm未満（白抜きの文字）が調査に適しています。

令和8年　潮汐表（海上保安庁）から

事務局だより

●『第２７回えたじま手づくり市』に出展します！
日　　時：１１月８日（日）１０：００～１５：００
場　　所：光源寺（能美町高田）
内　　容：海の生き物の「タッチングプール」と恒例の「里海クイズ」を行うので来てね！

●江田島湾のカブトガニがテレビで紹介されました
10 月 12 日に RCC のテレビ番組「イマナマ！」の中で、27 年間続けている江田島湾内のカブトガニ生息状況調査のことが紹介されました。
放送内容は右の QR コードより YouTube の RCC NEWS DIG Powered by JNN の動画ページにアクセスしてご覧いただけます。〔タイトル〕【26 年ぶりの奇跡】カブトガニが続々成体に！調査で捉えたつがいの姿

●休日開館日（11 月）のお知らせ
11 月も毎週土曜日を開館。開館時間は9:30－17:00（入館は１６：３０まで）です。詳しくは事務局まで。

江田島市教育委員会　教育部　大柿自然環境体験学習交流館
さとうみ科学館
Satoumi Science Museum（ＳＳＭ）
〒７３７－２２１４
広島県江田島市大柿町深江１０７３番地１
ＴＥＬ：（０８２３）５７－２６１３
ＦＡＸ：（０８２３）４０－３１００
メール：satoumimail@yahoo.co.jp
ＨＰ：『さとうみ科学館』で検索

◆事務局スタッフ◆

館　　長：西原　直久
専 門 員：平山　良太
主　　任：鍬崎　賢三
運営指導員：下中　茂樹
運営指導員：加島　茂樹
支 援 員：木村　さつき
里海ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：向井　綾香



（友の会会員）
シニア　１８３名
ジュニア　１４４名

◆あとがき◆11 月は今シーズンのカキの収穫が始まります。さとうみ科学館では、カキの収穫時期に合わせて 11 月から２月まで企画展にちなんだ観察会を行います。観察会に参加すると、いつもとはちょっと違うカキの楽しみ方を発見できるかもしれませんよ！（鍬崎）